

屋 内 消 火 栓 の 部

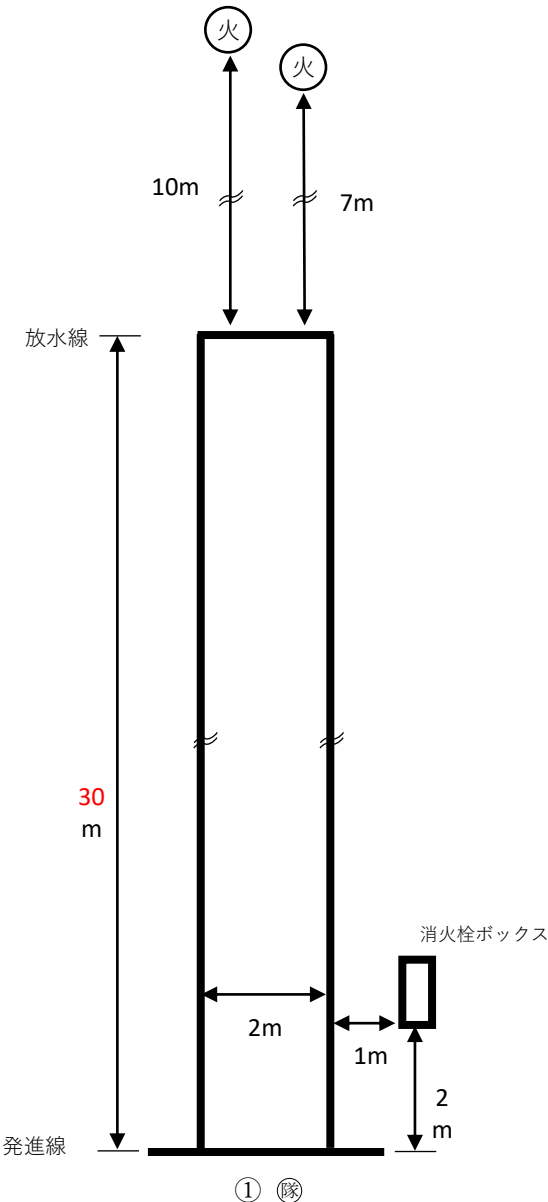
競 技 内 容

- 1 出場するチームは、進行係の指示に従い、消火栓ボックスへホース及び筒先を収納し、全員発進線に整列する。（ボックスへの収納は通常どおりとする。）
- 2 操作開始
 - (1) 発進は警笛の合図（二声は中止の合図）による。
 - (2) 発進合図があるまでは、隊員の並び方を変更しない。
- 3 操作分担
 - (1) 隊長は、ホース延長の補助及び消火栓ボックス操作とする。
 - (2) 1 番員は、ホース延長及び筒先操作とする。
- 4 操作要領
 - (1) 隊長、1 番員は、消火栓ボックスに至り、消火栓ボックス扉の開放、起動ボタンの操作を行い、ベルの鳴動を確認した後、ホース延長する（消火栓ボックスの扉は、静止させること。）。
 - (2) 1 番員は、筒先部を持ち、放水線に至り放水体制をとった後、「放水始め（呼称と同時に右（左）手を真上にあげる）」の合図をする。
 - (3) 隊長はホース延長の補助後、1 番員の「放水はじめ」の合図を受け、右（左）手を真上に上げ呼称を復唱するとともに消火栓ボックスに至り、バルブを開く。
 - (4) 火点的に向かって放水し、的を二つ倒した後、審査員の「放水やめ」の合図（警笛二声）により 1 番員は「放水やめ」と呼称する（2つの火点的を倒す順番は問わないものとする。）。
 - (5) 隊長は 1 番員の「放水やめ」の合図後、右（左）手を水平に上げ呼称を復唱しバルブを閉め放水を停止する。
- 5 撤収・解散

審査員の「おさめ」の合図（警笛三声）により、隊長は「おさめ」と号令し、1番員は筒先を持って発進線に戻り整列する（ホースは、運営要員が撤収する。）。

また、隊長も発進線に戻り整列する。

全員が整列した後に、隊長の指示で解散する。

図 解	審 査 項 目
	順位は消火タイム順とする。 ただし入賞等要件は反則のないチームとする。
	反 則 項 目
	① 起動ボタンを押さなかった。又は、起動ボタンを押す前にホースを延長した。 ② 消火栓ボックスの扉を開けた際、扉を静止させなかった。 ③ 1 m以上ホース金具を引きずった。 ④ 放水体勢前に「放水始め」を合図した。 ⑤ 「放水始め」の合図前にバルブを開いた。 ⑥ 放水線を踏んで（越えて）放水した。 ⑦ 「放水始め」「放水止め」の合図を忘れた。 ⑧ ホース結合部が外れて水が出た。 ⑨ コースを外れて走行した。 ⑩ その他審査責任者が必要と認めた事項
	消 火 タ イ ム
	消火タイムは、発進から消火（火点的 2 つを倒す）までの所要時間とする。

その他留意事項

- 1 使用ホースは、径 40 mm を 2 本とし、一線延長（1 本の長さ 15 m。ただし、長いものは支障ない。）
- 2 筒先圧力 0.3 MPa となるよう消防ポンプ車から送水する。
- 3 筒先口径は、13 mm とする。（大会当日は、大会主催者で用意する。）
- 4 競技者が用意する資器材は法令適合品を使用することとし、競技目的での改造等は認めない。